



岡村やすあき 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855

千葉市中央区市場町2番13号

電話 043 (227) 7411

成田空港30万回^{発着枠}拡大で合意

新時代に対応した空港へ

今年6月定例議会から副議長に就任した四街道市選出の岡村泰明(おかむら・やすあき)県議は、選手・役員を含めて68万人もの参加者を集めた「ゆめ半島千葉国体」で、主催者側のあいさつに追われるなど、国体の盛り上げに一役買いました。また、県政の主要課題である財政問題をはじめ、成田国際空港の年間発着枠を現行の22万回から30万回に機能拡大する問題では、県議会の関係常任委員会委員として、新時代に対応した成田空港のあり方について、県に対し積極的に発言してきました。また、民事再生法に基づいて再建を目指すかずさアカデミアパークや、環太平洋戦略経済連携協定(TPP)による農産物の輸入自由化問題などを強く懸念しており、こうした課題について県政の現況を1、2面で特集しました。



6月定例議会から副議長に就任し、議長席に座る岡村泰明県議

成田国際空港の年間発着枠を30万回とする空港機能拡大に関する空港周辺9市町と県、国、成田国際空港会社(NAA)の4者協議会が10月13日に開かれ、最終的に合意しました。これによって、成田空港は平成26年度中に30万回化を目指して新たな整備が進められることになりました。

従来の千葉県の主張は、「羽田は国内線、成田は国際線」という空港機能のすみ分け論が展開されてきましたが、アジア各地の国際ハブ(拠点)空港の競争が激化する中で、羽田空港の国際線ターミナルビルが完成、国際線定期便の就航が32年

ぶりに再開されたことから、オープンスカイ(航空自由化)へ向けて、成田空港も新たな対応が迫られているためです。

森田知事も「30万回化によって、成田が引き続き国際基幹空港としての役割を果たし、地域とともに発展

しながら、アジアナンバワンの空港を目指す」と意欲的に語り、成田空港は新しい時代を迎えることになりました

成田空港問題を所管する県議会の総合企画水道常任委員を務める岡村県議は、4者協議前の10月8日、同僚議員らと成田空港を視察しました。岡村県議らは、空港内を視察するとともに、NAA会議室で森中小三郎社長をはじめ、成田市長や県の関係者らと意見交換を行いました。

地域の声を県政に

●県政や四街道市のご相談・ご要望をお寄せください……

岡村やすあき 県議事務所
〒284-0025 四街道市さちが丘1-15-2 TEL/FAX.043(423)0103

中継放送のご案内 12月県議会は、開会日の11月24日午前10時から11時まで、代表質問1日目は30日午前10時から午後3時15分まで(正午から1時間を除く)、2日目は12月1日午前10時から正午までそれぞれ千葉テレビで中継されます。また、県議会の本会議場での質疑は、県議会のホームページからインターネット中継も見られます。

しかし、30万回へ機能拡大した場合、内陸空港の宿命として空港周辺住民に及ぼす騒音の影響が拡大することは避けられません。にもかかわらず周辺9市町は機能拡大で合意したわ



NAA森中社長の話を聞く岡村県議

HPもご覧下さい。…

検索

ちば自民党

議員リスト

県議会議員

四街道市

健全性損なう臨時財政対策債

県税収入は最低水準

県の財政問題は、県政運営の基本であり、岡村県議はこれまでもたびたび一般質問で取り上げてきました。千葉県の財政が極めて厳しい状況にあることは、多くの県民の知るところです。

例えば、今年度の臨時財政対策債が国からの地方交付税額を上回ったことは、今までに例のないことで、財政の健全性が損なわれているという過言ではありません。臨時財政対策債は、地方債の一種で、本来、国が地方交付税として措置すべきところを、国の都合で地方交付税の交付額を減らし、その穴埋めとして地方自治体に地方債を発行させる制度です。自治体が地方債を発行しても、その償還に要する費用は、後年度の地方交付税で全額が措置されることになってはいませんが、借金に違いはありません。

また、来年度の財政見通しとしては、歳入の根幹となる法人事業税などの県税収入が、景気の低迷から大きく落ち込み、県税収入は平成19年度の税源移譲以

ちば国体68万人参加し閉幕

37年前の「若潮国体」に次いで千葉県で開催される2度目の国体となった「ゆめ半島千葉国体」(第65回国民体育大会)は、9月25日の開会式から10月5日の閉会式まで、11日間の日程で行われ、無事閉幕しました。千葉県は、天皇杯(男女総合優勝)、皇后杯(女子総合優勝)を同時に獲得し、「若潮国体」でなし得なかった悲願を達成しました。



国体対策委員会総会であいさつする岡村県議

「ゆめ半島千葉国体」は、期間中天候不順だったにもかかわらず、参加者数が延べ68万6千人を超え、昨年の新潟国体には及ばなかったものの、一昨年の大分国体

計画「輝け！ちば元氣プラン」の着実な推進②現下の経済・雇用情勢など緊急課題への的確な対応③安定した財政基盤の確立に向けた財政改革の推進」を掲げており、成田空港や東京湾アクアラインを活用した地域経済の活性化へ積極的に取り組むほか、若者の雇用不安の解消などを図る方針です。

体の55万人を大きく上回り、成功裏に終わりました。また、10月末に行われた第10回全国障害者スポーツ大会でも千葉県選手団の活躍が目立つなど、全国の人たちに千葉県を知ってもらった。県外からの参加者に対する県民の温かい「おもてなしの心」も評判となりました。

かずさアカデミアパーク 再建に向け“苦渋の決断”

今年1月に経営破たんした、県や地元4市などが出資する第三セクターの「かずさアカデミアパーク」は、民事再生手続きによる会社再建に歩み始めましたが、県が同社に出資した35億円のほか、24億円の債権を放棄せざるを得ない状況で、約60億円の県の損失が生じることになりました。この問題は、県議会でも大きな議論を呼んでいます。

森田知事も「60億円は県民の血税であり、心痛の極みですが、新しい未来へ向かうために避けて通れない道であり、苦渋の決断に至った」と9月議会で弁明しました。自民党は代表質問で、創業以来赤字が続く、県職員が歴代社長を務めてきた経営体質を厳しく批判しましたが、知事は「経営にも問題があったが、県の見通しも甘かった」と真摯

TPP参加は論議必至

政府はこのほど、環太平洋戦略経済連携協定(TPP)への参加検討を表明しましたが、政府内でも経済産業省と農林水産省の所管大臣の意見が食い違っており、足並みが乱れています。経済界から輸出振興の立場で、関税撤廃に向けてTPP参加への働きかけが強まっているためですが、農業や食糧自給率、国土保全の立場からすると、十分な議論がないまま、参加表明は「見切り発車」との印象が強まっています。

農産物の貿易自由化は、競争力の弱い日本農業にとっては致命傷ともいわれ、TPP参加表明は、国民の十分な議論と理解を得てからにすることが求められます。また、農業分野に対してどのような支援策が行われるのかなどを含め、農業産出額全国第3位の千葉県にとつては極めて重要な問題であり、これから県議会でも活発な議論が展開されると思われる。

生活者の視点で県政改革！

岡村やすあき県議

岡村やすあきプロフィール

- 経歴
 - 昭和19年11月 生まれ
 - 昭和38年3月 佐賀高校卒
 - 昭和42年3月 専修大学経済学部卒業
 - 昭和51年4月 四街道町(市)議会議員初当選(6期連続当選)
 - 平成8年11月 県議会議員初当選
 - 平成11年4月 県議会議員再選
 - 平成15年4月 県議会議員3選
 - 平成19年4月 県議会議員4選
 - 県議会土木常任委員長
 - 県議会都市水道常任委員長
 - 自民党県連政調会長
- 現職
 - 県議会 副議長
 - 総合企画水道常任委員会委員
 - 千葉県 国土利用計画地方審議会委員

